

学 会 等 発 表 実 績

委託業務題目「難治性乳癌のER非依存性病態の解明に基づく新規治療法の開発基盤研究」

機関名;東京医科歯科大学難治疾患研究所

徳島大学疾患プロテオゲノム研究センター

聖マリアンナ医科大学大学院医学研究科

大阪大学大学院医学系研究科

東北大学大学院医学系研究科

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果(発表題目、口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
A novel AKAP protein, BIG3 coordinates estrogen signaling pathways in breast cancer cells.	Toyomasa Katagiri	11th International Conference on Protein Phosphatase	2014年11月	国内
新規エストロゲンシグナル制御分子 BIG3 による新たながん抑制因子 prohibitin2 の機能喪失機構の解明 (口頭発表)	片桐 豊雅, 吉丸 哲郎, 小松 正人	第 87 回日本生化学学会大会	2014年10月	国内
トリプルネガティブ乳癌における癌抑制遺伝子 BCL11A の発現低下について (ポスター発表)	宮川 義仁, 小松 正人, 清谷 一馬, 吉丸 哲郎, 笹 三徳, 三好 康雄, 片桐 豊雅	第 73 回日本癌学会学術総会,	2014年9月	国内
悪性度の高いトリプルネガティブ乳癌における核内 19S-proteasome 関連遺伝子 (nPAG1) の役割 (口頭発表)	小松 正人, 吉丸 哲郎, 尾野 雅哉, 松尾 泰佑, 清谷 一馬, 三好 康雄, 笹 三徳, 片桐 豊雅	第 73 回日本癌学会学術総会,	2014年9月	国内
エストロゲン受容体制御分子 BIG3 を標的とした新規 ER 陽性乳がん治療法の開発 (口頭発表)	吉丸 哲郎, 小松 正人, 三好 康雄, 笹 三徳, 片桐 豊雅	第 73 回日本癌学会学術総会,	2014年9月	国内
がん特異的糖転移酵素による小胞体ストレス応答の恒常的活性化を標的とした新規創薬開発 (口頭発表)	片桐 豊雅	第 73 回日本癌学会学術総会,	2014年9月	国内
がん特異的糖転移酵素による小胞体ストレス応答の恒常的活性化を標的とした新規創薬開発 (口頭発表)	大豆本 圭, 小松 正人, 吉丸 哲郎, 上原 久典, 布川 朋也, 金山 博臣, 片桐 豊雅	第 73 回日本癌学会学術総会,	2014年9月	国内
乳癌細胞における癌抑制分子 PHB2 のエストロゲン依存性核内移行機構の解明 (ポスター	金 南希, 吉丸 哲郎, 小松 正人, 松尾 泰佑, 笹 三徳, 片桐 豊雅	第 74 回日本癌学会学術総会,	2014年9月	国内

発表)				
包括的ゲノム解析を通じたトリプルネガティブ乳がんの分子特性 (口頭発表)	片桐豊雅	第22回日本乳癌学会学術総会	2014年7月	国内
トリプルネガティブ乳癌におけるプロテアソーム構成因子のプロテアソーム活性非依存的な役割 (口頭発表)	小松 正人, 吉丸 哲郎, 松尾 泰佑, 片桐 豊雅	第18回日本がん分子標的治療学会学術集会	2014年6月	国内
エストロゲン受容体制御分子BIG3を標的とした新規ER陽性乳がんの治療法の創製(口頭発表)	吉丸 哲郎, 小松 正人, 松尾 泰佑, 片桐 豊雅	第18回日本がん分子標的治療学会学術集会	2014年6月	国内
BIG3-PHB2 Interaction is a key therapeutic target in luminal-type of breast cancer (ポスター発表)	Toyomasa Katagiri, Tetsuro Yoshimaru, Masato Komatsu and Taisuke Matsuo	American Association for Cancer Research (AACR) Annual Meeting	Apr. 2014.	国外
BRCA1の新規クロマチン結合機構を標的としたがん治療戦略 (口頭)	太田智彦	第15回ホルモンと癌研究会	2014年7月	国内
BRCA1の新規DNA損傷応答メカニズムを標的とした治療戦略 (口頭)	太田智彦	第22回日本乳癌学会学術総会	2014年7月	国内
BRCA1のDNA損傷応答とヒストン修飾(口頭)	太田智彦	第19回日本病態プロテアーゼ学会学術集会	2014年8月	国内
ATM-dependent but RNF168-independent BRCA1/BARD1 retention at sites of DNA damage (ポスター)	Tomohiko Ohta, Hiroyuki Nishikawa, Anna S. Sedukhina, Takayo Fukuda, Wenwen Wu	Benzon Symposium No 60 - Nuclear Regulation by Ubiquitin	2014年8月	国外
Therapeutic strategy targeting the mechanism of BRCA1 retention at DNA damage sites via a histone modification. (口頭)	太田智彦	第73回日本癌学会学術総会	2014年9月	国内
HP1 gamma mediates BARD1 retention on Lys9-dimethylated histone H3 at sites of DNA damage (ポスター)	Tomohiko Ohta, Hiroyuki Nishikawa, Anna S. Sedukhina, Takayo Fukuda, Wenwen Wu	Fusion Conference DNA Replication as a Source of DNA Damage	2014年10月	国外

BRCA1 retention at DNA double-strand breaks in homology-directed repair pathways (口頭)	Tomohiko Ohta	International Symposium on Homeostasis through development, life, and diseases	2014年11月	国内
Fine-Tuning of DNA damage-induced ubiquitination supports adequate DNA repair pathway (ポスター)	Kato K, Nakajima K, Nakada S.	Gordon Reserch Conference	2014年7月	国外
DNA 損傷依存性ユビキチン化の精密制御による適切な DNA 修復経路選択 (口演)	中田慎一郎	日本癌学会学術集会	2014年9月	国内
DNA Damage-Induced Ubiquitination Affects DNA Repair Pathway Choice. (口演)	Nakada S	3R Symposium	2014年9月	国内
Multiple Ubiquitination pathways suppress RAD51 recruitment through facilitating RPA S4/S8 phosphorylation. (ポスター)	Nakajima K, Nakada S.	Keystone Symposium	2015年3月	国外
Estrogen Receptor(ER) 陽性乳癌における Steroid Sulfatase(STS) と Organic Anion Transporter Peptide(OATP)4A1 の新規バイオマーカーとしての可能性 (ポスター)	樋口徹、遠藤恵、花村徹、郷野辰幸、丹羽俊文、山口ゆり、堀口淳、竹吉泉、林慎一	第114回日本外科学会定期学術集会(京都)	2014年4月	国内
Molecular characterization of everolimus-resistant cell lines established from estrogen depletion-resistant MCF-7. (ポスター)	Kimura M, Hanamura T, Kaneko Y, Niwa T, Yamaguchi Y, Endo I, Hayashi S.	AACR Annual Meeting 2014 (San Diego,USA)	2014年4月	国外
Androgen receptor acquires an oncogenic role in the AI resistance mechanism in breast cancer. (口演)	Fujii R, Hanamura T, Gohno T, Niwa T, Yamaguchi Y, Ishida T, Sasano H, Ohuchi N, Hayashi S.	AACR Annual Meeting 2014 (San Diego,USA)	2014年4月	国外
ER 遺伝子の CpG island shore に存在する特定のメチル化部位がホルモン療法耐性乳癌細胞における ER 発現を規定している	坪井洸樹、長友隆将、郷野辰幸、樋口徹、丹羽俊文、林慎一	第15回ホルモンと癌研究会(宮城)	2014年7月	国内

(口演)				
乳癌細胞におけるホルモン療法耐性と癌幹細胞性(口演)	内海加奈美、佐藤望、山口ゆり、林慎一	第22回日本乳癌学会学術総会(大阪)	2014年7月	国内
ER陽性乳癌細胞株 MCF-7 におけるエストロゲン枯渇耐性かつ mTOR 阻害剤耐性の分子生物学的特徴(ポスター)	木村万里子、金子陽介、藤木夏、丹羽俊文、山口ゆり、遠藤格、林慎一	第23回日本乳癌学会学術総会(大阪)	2014年7月	国内
フルベストラント耐性乳癌細胞株の分子生物学的特徴(ポスター)	金子陽介、花村徹、藤井里圭、坪井洸樹、長友隆将、丹羽俊文、林慎一	第24回日本乳癌学会学術総会(大阪)	2014年7月	国内
乳癌の化学療法効果におけるエストロゲンレセプター蛋白発現と活性による評価の検討(ポスター)	徳田恵美、齊藤光江、清野祐子、山口ゆり、林慎一	第25回日本乳癌学会学術総会(大阪)	2014年7月	国内
ER陽性乳癌における ER, PR, HER2 の mRNA 発現と臨床病理学的因子との関連(ポスター)	樋口徹、長友隆将、郷野辰幸、時庭英彰、丹羽俊文、堀口淳、小山徹也、林慎一、竹吉泉	第26回日本乳癌学会学術総会(大阪)	2014年7月	国内
アロマターゼ阻害剤耐性再発乳癌症例におけるアンドロゲン受容体関連蛋白発現の検討(ポスター)	藤井里圭、鈴木貴、柴原裕紀子、丹羽俊文、石田孝宣、笹野公伸、大内憲明、林慎一	第27回日本乳癌学会学術総会(大阪)	2014年7月	国内
ホルモン感受性乳癌における Aromatase 非依存的 Steroid 代謝経路の役割(ポスター)	花村徹、丹羽俊文、遠藤恵、郷野辰幸、山口ゆり、黒住昌史、武井寛幸、伊藤研一、林慎一	第28回日本乳癌学会学術総会(大阪)	2014年7月	国内
閉経後ホルモン感受性乳癌における Androgen 代謝による Aromatase 非依存的 ER 活性化機構と新規治療の可能性(口演)	花村徹、丹羽俊文、郷野辰幸、山口ゆり、黒住昌史、武井寛幸、伊藤研一、林慎一	第23回乳癌基礎研究会(つくば)	2014年7月	国内
Estrone Sulfate 依存性 Aromatase Inhibitor 耐性ヒト乳癌細胞株の増殖機構(口演)	樋口徹、遠藤恵、花村徹、郷野辰幸、丹羽俊文、山口ゆり、堀口淳、竹吉泉、林慎一	第23回乳癌基礎研究会(つくば)	2014年7月	国内
乳癌細胞におけるホルモン療法耐性と癌幹細胞性(口演)	内海加奈美、佐藤望、伊藤貴子、平川久、山口ゆり、林	第15回乳癌最新情報カンファランス(松	2014年8月	国内

	慎一	本)		
乳癌細胞における癌幹細胞性とホルモン療法耐性の関係(ポスター)	内海加奈美、佐藤望、伊藤貴子、平川久、山口ゆり、林慎一	第73回日本癌学会 学術総会(横浜)	2014年9月	国内
特異的ナノビーズを用いた細胞膜局在型エストロゲン受容体の解析と乳癌ホルモン療法耐性への関与(ポスター)	高信純子、丹羽俊文、鈴木奏絵、郷野辰幸、山口ゆり、林慎一	第73回日本癌学会 学術総会(横浜)	2014年9月	国内
ERを活性化するタバコ煙成分の探索とホルモン療法耐性株への影響の検討(ポスター)	浅利陽佑、高信純子、品川優理、丹羽俊文、平川久、山口ゆり、林慎一	第73回日本癌学会 学術総会(横浜)	2014年9月	国内
卵巣摘出マウスにおけるホルモン療法耐性乳癌のXenograftモデル(口演)	山口ゆり、木村万里子、内海加奈美、林慎一	第73回日本癌学会 学術総会(横浜)	2014年9月	国内
フルベストラント耐性株におけるERのエピジェネティクスによる制御と細胞内シグナル伝達の可塑性の関係。(ポスター)	坪井洸樹、金子陽介、花村徹、藤井里圭、丹羽俊文、林慎一	第73回日本癌学会 学術総会(横浜)	2014年9月	国内
ER転写解析によるエストロゲンシグナル経路の識別の試み(ポスター)	唯野良介、丹羽俊文、林慎一	第73回日本癌学会 学術総会(横浜)	2014年9月	国内
Heregulin-1によるMCF-7乳癌細胞におけるER/HERファミリーの発現規制と癌幹細胞様の特性の誘導(ポスター)	福井布美代、内海加奈美、山口ゆり、林慎一	第73回日本癌学会 学術総会(横浜)	2014年9月	国内
Efficacy of everolimus on multiple mechanism of AI-resistance in vitro and xenograft, and characterization of everolimus-resistance.(ポスター)	Mariko Kimura, Toru hanamura, Kohki Tsuboi, Yuri Yamaguchi, Toshihumi Niwa, Itaru Endo, Shin-ichi Hayashi	2014 San Antonio Breast Cancer Symposium (San Antonio, USA)	2014年12月	国外
乳癌におけるホルモン療法耐性のメカニズム 基礎研究を中心に(口演)	林慎一	第14回関東ホルモンと癌研究会(東京)	2014年2月	国内
アロマターゼ阻害剤耐性機序と新規治療の可能性(口演)	林慎一	第11回日本乳癌学会九州地方会(福岡)	2014年3月	国内

ホルモン療法耐性機序(口演)	林慎一	17th BREAST CANCER UP-TO-DATE Meeting(東京)	2014年3月	国内
閉経後進行再発乳癌の治療戦略～基礎研究より～(口演)	林慎一	第10回東北Breast Cancer Workshop (宮城)	2014年6月	国内
ホルモン療法耐性乳癌の分子機構(口演)	林慎一	第22回日本乳癌学 会学術総会(大阪)	2014年7月	国内
閉経後進行・再発乳癌におけるSERDの可能性～基礎研究より～(口演)	林慎一	第23回日本乳癌学 会学術総会(大阪)	2014年7月	国内
ホルモン療法耐性機序 -エペロリムスによる乳癌治療の可能性(口演)	林慎一	EAST Japan 乳癌 Live Seminar(大宮)	2014年7月	国内
内分泌療法耐性のメカニズム(口演)	林慎一	第52回日本乳癌治 療学会学術集会 (横浜)	2014年8月	国内
ホルモン療法耐性の分子生物学とmTORシグナル(口演)	林慎一	Breast Cancer Experts Meeting in 郡山(郡山)	2014年9月	国内
ホルモン療法耐性の分子機序の理解と新規分子標的(口演)	林慎一	Scientific Exchange Meeting(東京)	2014年9月	国内
乳癌のホルモン療法耐性のメカニズムとその克服に向けて(口演)	林慎一	第73回日本癌学会 学術総会(横浜)	2014年9月	国内
乳癌ホルモン療法の基礎～耐性獲得のメカニズムとその克服に向けて(口演)	林慎一	新潟県乳癌学術講 演会(新潟)	2014年10月	国内
ホルモン療法耐性の分子機序の理解と新規分子標的(口演)	林慎一	National SEM in Sapporo(札幌)	2014年10月	国内
マルチトランスフェクションプレートを用いた上皮性卵巣癌の新規分子標的の探索(ポスター)	田中 英雄, 片岡 史夫, 野村 弘行, 津田 浩史, 進 伸幸, 高野 政志, 板持 広明, 紀川 純三, 斉藤 広子, 三木 義男, 吉村 泰典, 青木 大輔	第66回日本産科婦 人科学会学術総 会、東京(千代田区)	2014年4月	国内

葉状腫瘍のプロテオーム解析から導いた periostin 欠乏による decorin の細胞外放出 (ポスター)	石場 俊之, 中西 啓, 永原 誠, 中川 剛士, 佐藤 隆宣, 円城寺 恩, 大野 玲, 飯田 聡, 植竹 宏之, 杉原 健一, 三木 義男	第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市	2014 年 4 月	国内
乳癌における Maspin の過剰発現と臨床的検討 (ポスター)	小松 哲, 長崎 光一, 伊藤 研一, 天野 純, 三木 義男	第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市	2014 年 4 月	国内
遺伝性乳がん卵巣がん症候群 (HBOC) と遺伝カウンセリング 遺伝性乳がん原因遺伝子の発見から新しい治療開発への展望 (口頭)	三木 義男	第 38 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会、東大阪市	2014 年 6 月	国内
乳がんを読み解くために必要なゲノム情報の基礎 全ゲノムシーケンス、RNA シーケンス、エピジェネティクス等 (口頭)	三木 義男	第 22 回日本乳癌学会学術総会、大阪市	2014 年 7 月	国内
機能ネットワークからみた乳癌予測因子の探索 (ポスター)	大石 陽子, 黒田 一, 川村 雄大, 斎藤 賢将, 野谷 啓之, 川村 徹, 佐藤 康, 密田 亜希, 中嶋 昭, 三木 義男	第 22 回日本乳癌学会学術総会、大阪市	2014 年 7 月	国内
ルミノール A 乳がんに対する化学療法の可能性 (ポスター)	吉本 賢隆, 前田 奈緒子, 神森 眞, 三木 義男	第 22 回日本乳癌学会学術総会、大阪市	2014 年 7 月	国内
BRCA2 の新規機能解明に基づく診断・治療法の開発 (口頭)	中西 啓, 三木 義男	第 73 回日本癌学会学術総会、横浜市	2014 年 9 月	国内
PARP-1 と PARG は放射線応答において 53BP1 の制御に関与する (口頭)	Wang Junhui, 茂木 章, 藤森 浩彰, 三木 義男, 益谷 美都子	第 73 回日本癌学会学術総会、横浜市	2014 年 9 月	国内
M 期中心体における MT1-MMP の BRCA2 タンパク分解 (口頭)	高岡 美帆, ナディラ ワリ, 斎藤 広子, 中西 啓, 三木 義男	第 73 回日本癌学会学術総会、横浜市	2014 年 9 月	国内
BRCA2 欠失乳細胞に合成致死を誘導する有効な低分子化合物の同定 (口頭)	清水 優香, 湯浅 磨里, 中西 啓, 三木 義男	第 73 回日本癌学会学術総会、横浜市	2014 年 9 月	国内
画像認識技術による中心体解析とその複製制御に関与する BRCA2 分子内領域の同定 (ポスター)	佐藤 玄, 倉科 太一, 紺野 真衣, 三木 義男, 竹中 克也	第 73 回日本癌学会学術総会、横浜市	2014 年 9 月	国内

乳がん患者のパクリタキセル応答性に関わる遺伝子ネットワーク解析 (ポスター)	宮口 健、井元 清哉、牛嶋大、松浦 正明、玉田 嘉紀、山口 類、宮野 悟、三木 義男	第73回日本癌学会学術総会、横浜市	2014年9月	国内
日本における中咽頭扁平上皮癌のHPV陽性率とHPV型 (ポスター)	古田 玲子、佐藤 由紀子、利安 隆史、新橋 涉、山本智理子、川端 一嘉、三木 義男、石川 雄一、北川 知行	第73回日本癌学会学術総会、横浜市	2014年9月	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所 (学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
Brefeldin A-inhibited guanine nucleotide-exchange protein 3 (BIG3) is predicted to interact with its partner through an ARM-type helical structure.	Chen YA, Murakami Y, Ahmad S, Yoshimaru T, Katagiri T, Mizuguchi K.	BMC Res Notes.	2014	国外
Early growth response 4 is involved in cell proliferation of small cell lung cancer through transcriptional activation of its downstream genes	Matsuo T, Dat LT, Komatsu M, Yoshimaru T, Daizumoto K, Sone S, Nishioka Y, Katagiri T	PLoS One.	2014	国外
Xanthohumol suppresses oestrogen-signalling in breast cancer through the specific inhibition of BIG3-PHB2 interactions.	Yoshimaru T, Komatsu M, Tashiro E, Imoto M, Osada H, Miyoshi Y, Honda J, Sasa M, Katagiri T	Sci Rep.	2014	国外
Identification of novel epigenetically inactivated gene, PAMR1 in breast carcinoma.	Lo PH, Tanikawa C, Katagiri T, Nakamura Y, Matsuda K.	Oncol Rep.	2015	国外
Activation of mTOR/S6K But Not MAPK Pathways Might Be Associated With High Ki-67, ER+, and HER2- Breast Cancer.	Yanai A, Inoue N, Yagi T, Nishimukai A, Miyagawa Y, Murase K, Imamura M, Enomoto Y, Takatsuka Y, Watanabe T, Hirota S, Sasa M, Katagiri T, Miyoshi Y	Clin Breast Cancer	2015 in press	国外

Therapeutic advances in BIG3-PHB2 inhibition targeting the crosstalk between estrogen and growth factors in breast cancer.	Yoshimaru T, Komatsu M, Miyoshi Y, Honda J, Sasa M, Katagiri T	Cancer Sci.	2015 in press	国内
NF- κ B signaling mediates acquired resistance after PARP inhibition.	Nakagawa Y, Sedukhina AS, Okamoto N, Nagasawa S, Suzuki N, Ohta T, Hattori H, Roche-Molina M, Narváez AJ, Jeyasekharan AD, Bernal JA, Sato K.	Oncotarget.	2015	国外
Interaction of BARD1 and HP1 is required for BRCA1 retention at sites of DNA damage.	Wu W, Nishikawa H, Fukuda T, Vittal V, Asano M, Miyoshi Y, Klevit RE, Ohta T.	Cancer Res.	2015	国外
LSD1 Overexpression Is Associated with Poor Prognosis in Basal-Like Breast Cancer, and Sensitivity to PARP Inhibition.	Nagasawa S, Sedukhina AS, Nakagawa Y, Maeda I, Kubota M, Ohnuma S, Tsugawa K, Ohta T, Roche-Molina M, Bernal JA, Narváez AJ, Jeyasekharan AD, Sato K.	PLoS One.	2015	国外
Ubiquitin acetylation inhibits polyubiquitin chain elongation.	Ohtake F, Saeki Y, Sakamoto K, Ohtake K, Nishikawa H, Tsuchiya H, Ohta T, Tanaka K, Kanno J.	EMBO Rep.	2015	国外
Rad18 and Rnf8 facilitate homologous recombination by two distinct mechanisms, promoting Rad51 focus formation and suppressing the toxic effect of nonhomologous end joining.	Kobayashi S, Kasaishi Y, Nakada S, Takagi T, Era S, Motegi A, Chiu RK, Takeda S, Hirota K.	Oncogene	2015 in press	国外
Estrogen response element-GFP (ERE-GFP) introduced MCF-7 cells demonstrated the coexistence of multiple estrogen-deprivation resistant mechanisms.	Fujiki N, Konno H, Kaneko Y, Gohno T, Hanamura T, Imami K, Ishihama Y, Nakanishi K, Niwa T, Seino Y, Yamaguchi Y, Hayashi S.	J. Steroid Biochem. Mol. Biol., 139: 61-72, 2014.	2014	国外

Possible role of the aromatase-independent steroid metabolism pathways in hormone responsive primary breast cancers.	Hanamura T, Niwa T, Gohno T, Kurosumi M, Takei H, Yamaguchi Y, Ito K, Hayashi S.	Breast Cancer Res. Treat. 143: 69-80, 2014.	2014	国外
Detection of estrogen-independent growth-stimulating activity in breast cancer tissues: implication for tumor aggressiveness.	Yamaguchi Y, Seino Y, Takei H, Kurosumi M, and Hayashi S.	Cancer Microenvironment, 7: 23-21, 2014.	2014	国外
Increased androgen receptor activity and cell proliferation in aromatase inhibitor-resistant breast carcinoma.	Fujii R, Hanamura T, Suzuki T, Gohno T, Shibahara Y, Niwa T, Yamaguchi Y, Ohnuki K, Kakugawa Y, Hirakawa H, Ishida T, Sasano H, Ohuchi N, Hayashi S.	J. Steroid Biochem. Mol. Biol., 144: 513-522, 2014.	2014	国外
Variation in use of estrogen receptor a gene promoters in breast cancer compared by quantification of promoter-specific mRNA.	Higuchi T, Gohno T, Nagatomo T, Tokiniwa H, Niwa T, Horiguchi J, Oyama T, Takeyoshi I, Hayashi S.	Clin. Breast Cancer, 14: 249-245, 2014.	2014	国外
Active estrogen synthesis and its function in prostate cancer-derived stromal cells.	Machioka K, Mizokami A, Yamaguchi Y, Izumi K, Hayashi S, Namiki M.	Anticancer Res. 35: 221-228, 2015.	2015	国外
Differences in stemness properties associated with the heterogeneity of luminal-type breast cancer.	Ito T, Sato N, Yamaguchi Y, Tazawa C, Moriya T, Hirakawa H, Hayashi S.	Clin. Breast Cancer, in press, 2015.	2015	国外
Periostin suppression induces decorin secretion leading to reduced breast cancer cell motility and invasion.	Ishiba T, Nagahara M, Nakagawa T, Sato T, Ishikawa T, Uetake H, Sugihara K, Miki Y, Nakanishi A	Sci Rep.	2014	国外
Epithelial-mesenchymal transition spectrum quantification and its efficacy in deciphering survival and drug responses of cancer patients.	Tan TZ, Miow QH, Miki Y, Noda T, Mori S, Huang RY, Thiery JP.	EMBO Mol Med.	2014	国外

Centrosomes at M phase act as a scaffold for the accumulation of intracellular ubiquitinated proteins.	Kimura H, Miki Y, Nakanishi A.	Cell Cycle.	2014	国外
Development of detection method for novel fusion gene using GeneChip exon array.	Wada Y, Matsuura M, Sugawara M, Ushijima M, Miyata S, Nagasaki K, Noda T, Miki Y.	J Clin Bioinforma.	2014	国外
BRCA2 phosphorylated by PLK1 moves to the midbody to regulate cytokinesis mediated by nonmuscle myosin IIC.	Takaoka M, Saito H, Takenaka K, Miki Y, Nakanishi A.	Cancer Res.	2014	国外